

令和7年度 朝来市立梁瀬中学校 学校経営方針

I 校訓

自 主
協 同
清 新

II 学校の教育目標

『ふるさとを愛し 共に自己を磨き合い 未来を創る 生徒の育成』

めざす生徒像・・・自己実現をめざし、共に創造し、心豊かで未来を創る自立した生徒

- ふるさと山東に誇りを持ち、自らの夢や志の実現に明るく努力する生徒
- 共に学び、共に考え判断し、新たな価値を創造できる生徒
- 命や人権を尊び、思いやりの心で仲間を大切にし、共に認め合う生徒

めざす教師像・・・人間性豊かで高い倫理観と実践的指導力を備えた教師

- 自らの専門性を高め、社会変化に対応し創造性を発揮し合う教師
- 保護者や地域と手を携え、自らの社会性を向上させ合う教師
- 心身ともに健康で、明るくゆとりをもって、勤務し合える教師

めざす学校像・・・学校・家庭・地域社会が共鳴する学校

- みんなが笑顔で安心して学び合える学校
- けじめがあり、互いに成長し合える学校
- 地域の学校として、誇りを感じ合える学校



キーワード: 読解力・思考力・表現力・判断力・創造力

あいさつが響く学校、歌声が響く学校、思いやりが響く学校

Ⅲ 学校運営の基本方針

共創の取り組み

「共に励まし、共に支え合い、共に耐え、共に高め合う学校を創る」

- ① 聞く→聴く→訊く 「相手を尊重し、自分を活かし、高める訊き方」
- ② 見(せ)る→視(せ)る→観(せ)る = **読む** 「主体的に理解し、判断し、解決に導くために見抜く力」
- ③ 作る→造る→創る 「環境を作り、学校を造り、人を創る」

未来を創る生徒に「生きる力」を培う

1 確かな学力の育成

- (1)授業づくりのUD化を進めるとともに、ICTの効果的活用を図り、基礎・基本の定着とその活用能力を育成し、わかる授業づくりを推進する
- (2)少人数授業や同室複数指導等で、きめ細かで個に応じた指導を充実させる
- (3)夢や志を育てる進路指導を充実させる
 - 実践1 授業規律の統一（2分前学習、学びのスタイルの統一）
 - 実践2 「個別最適な学び」と「協動的な学び」の一体的な充実
 - 実践3 家庭学習の充実（学習習慣の定着、チャレンジノートの充実、タブレットの活用デジタルデトックスデー）

2 豊かな心の育成

- (1)道徳教育を充実させ、教育活動全体を通して道徳的実践力の育成を図る
- (2)共に学び、共に励まし合い、共に高め合う共創体験を充実する
- (3)生徒の心を理解し、人間的なふれあいに基づく指導に努める
 - 実践1 特別の教科「道徳」の時間や「総合的な学習の時間」の充実
 - 実践2 生徒会活動、緑風祭等、生徒の主体性を生かす活動の設定 「共創週間」「脚下照顧」等
 - 実践3 共創の花を咲かせよう 「感謝の想いを綴ろう」 等

3 健やかな身体の育成

- (1)自らを律し、心身共に健康な生徒の育成を図る
- (2)食育を充実させる
- (3)生徒の心を理解し、人間的なふれあいに基づく指導に努める
 - 実践1 梁瀬中学校の一日の基本的な生活習慣の確立
 - 実践2 給食指導の充実
 - 実践3 地域と連携した部活動展開の実践

4 学びの基盤となる自立して未来に挑戦する態度を育成する

- (1)教育活動全体を通して、組織的・系統的なキャリア教育を推進する
- (2)家庭や地域との連携のもと、兵庫型「体験教育」等の体験活動を推進する
- (3)国際理解教育を通して、グローバル化に対応した教育を推進する

5 特色ある教育活動を展開し、魅力ある学校づくりを行う

- (1)小・中学校の連携を深め、9年間を見据えた教育を推進する
- (2)子どもの教育的ニーズを把握し、校内支援体制を整える
- (3)郷土の文化を継承する心を育てる

6 教職員の資質と実践的指導力の向上

- (1)組織の一員として自らの専門性・実践的指導力の向上をめざす
- (2)すべての教職員が協働して教育活動を行い学校の組織力・実践力を高める
- (3)教育課題に関係機関と積極的に連携を図り組織的に取り組む

7 学校・家庭・地域が、共に連動する教育活動

- (1)学校評価を活用し、保護者や地域に信頼される学校づくりを推進する
- (2)オープンスクールや広報を通して、地域とともにある学校づくりを推進する
- (3)安全で安心できる学校づくりを推進する